

駒井徳三 満鉄業務に貢献し、満州建国に主導的役割果たすも、国策に翻弄され続けて挫折。ジンギスカン鍋の名付け親説。

こまいとくぞう

内閣発足・1885 = 滋賀県常盤村で、医師駒井徳恒の次男に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 4歳：

日清戦争始・1894 = 9歳：

白馬会・・・1896 = 11歳：これ以前、_京都に隠棲中の荒尾精に会って、大陸への関心を持ち始め、

ビアノ国産化・1900 = 15歳：_杉浦重剛の塾に学び、

教科書疑獄・1902 = 17歳：この年、出版された_宮崎滔天「三十三年の夢」を読むなどして、大陸への大志を抱くようになる。

日比谷公園・1903 = 18歳：

京都府立二中、札幌農学校予科を経て、

日露戦争終・1905 = 20歳：

韓国反日暴動1907 = 22歳：(この年札幌農学校が改称された)東北帝国大学農科大学に入学、

植民政策学を専攻し、

韓国併合・・・1910 = 25歳：この年誕生し、のち舞蹈家となる次女の名を満洲野とするほどであった。

大逆事件判決1911 = 26歳：東北帝国大学農科大学農業経済科を卒業。_札幌農学校の先輩新渡戸稲造の口利きで満鉄の東亜経済局に入りしていたことから、その協力を得て、卒業論文「満洲大豆論」をまとめ、

明治天皇没・1912 = 27歳：*出版されて評判となる。大陸に渡って満鉄に入社し、地方課に勤務。

大正政変・・・1913 = 28歳：早くも、モンゴル羊の品種改良をめざす満鉄の農事試験場の設立に参画。_理事犬塚信太郎から、秘密裏に土地を購入するよう指示され、

第一次大戦始1914 = 29歳：_蒙古調査旅行に出、

21ヶ条要求・1915 = 30歳：この年、南満東蒙条約が締結され、日本の満蒙権益が拡大。_戻り、

民本主義・・・1916 = 31歳：パプチャップ事件に関係。

この間、植民地金融機関として{東洋拓殖株式会社}が満蒙に進出、その_{東拓}から、綿羊の品質改良のために必要な土地買収の選定を委託され、

本格政党内閣1918 = 33歳：政府拓殖調査委員会の提言を受けた{満蒙毛織}が設立される。_中国産業調査旅行に出て、

大暴落・・・1920 = 35歳：_満鉄からの分も合わせて、10万町歩を確保するが、その間に、満鉄は人事異動で様変わり、

原敬首相暗殺1921 = 36歳：_戻るが、満鉄はすっかり居づらい組織に変わっていたため、退職。外務省アジア局嘱託となるも、

治安維持法・1925 = 40歳：*張作霖配下の郭松齢から満州独立運動を打診され、渡満して参加しようとするも、国策はすっかり変わって、当局に阻止され、そのダメージから、不眠症にかかって閉居してしまう。

海軍軍縮条約1930 = 45歳：この頃、ジンギスカン鍋の命名をしつらしい。

満州事変・・・1931 = 46歳：*満州事変が勃発すると、小磯国昭の斡旋もあって、私財を投げ打ち渡満。陸軍省嘱託となり、関東軍の統治部長に就任、満洲建国に向けたマスタープランの作成に取り組み、

五一五事件・1932 = 47歳：_満州国建国とともに、國務院総務長官心得となるように、建国を牛耳っていたが、上層部との摩擦で辞任、事実上は、参議府の顧問に左遷され、

国際連盟脱退1933 = 48歳：*ついに、満洲と離別して、帰国。

芥川直木賞始1935 = 50歳：以後、政治的な活動はなくなり、宝塚に、私塾{康德学院}を建設・開校、

日中戦争始・1937 = 52歳：

第二次大戦始1939 = 54歳：_{興亜時習社}学長に就任、

日米開戦・・・1941 = 56歳：

・・・1942 = 57歳：_辞任。

年金+総武装 1944 = 59歳：それまでの活動をまとめ、「大陸小志」を出版。

敗戦・・・1945 = 60歳：

新憲法公布・1946 = 61歳：_GHQから出頭命令を受けるも、早くに満洲から手を引いたため、戦犯を免れ、

極東裁判決・1948 = 63歳：

独立回復・・・1951 = 66歳：_公職追放解除後は、実業界で活動し、

メデー-事件・1952 = 67歳：自伝「大陸への悲劇」を出版。

なべ底不況・1957 = 72歳：

安保闘争・・・1960 = 75歳：_没した。